

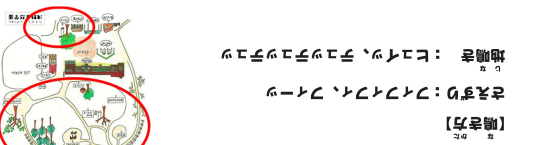
【鳴き方】 さえずり：シロツ、ツーツ、チツ

から「雪の妖精」と呼ばれ、人気が高い。なんと長く鳴いている。体が小さく白いこと飲みに来る。さえずりに決まったフレーズはなく、好物はイタチエチの樹液で、2月頃になると冬の間は数家族で群れになって平地で行動する。北海道の留鳥で、夏は山地に遷徙に移動するが、



スズメ目エナガ科

# シロエナガ



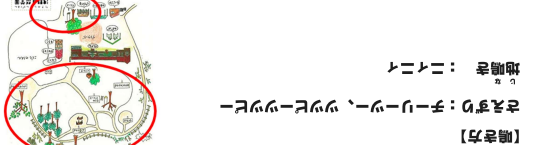
【鳴き方】 さえずり：コノコノ、ノーツー 地鳴き：ヒコヒコ、チツチツコ

頭から背・尾までは灰青色で、顔から胸は白色、目元には黒いサンショウのような模様がある。野鳥では唯一、木の幹を下に向かって降りられる。警戒心が強いので人懐っこく感じる。秋には樹皮の裏に卵を隠して冬の食糧とする。



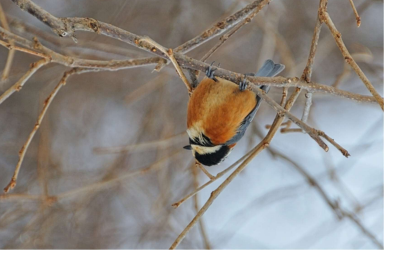
スズメ目ゴジュウカラ科

# ゴジュウカラ



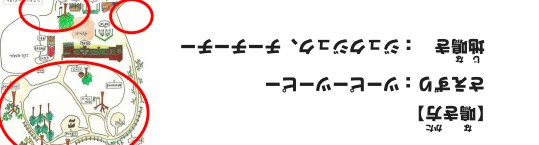
【鳴き方】 さえずり：チーリツ、ツツレツツレー 地鳴き：ニ、ニ

道央でよく見られる野鳥。体の色がオレンジ色、ブルーと黒と鮮やかな特徴。さえずりが3拍子なのでツルツルのように聞こえる。秋に葉の高樹冠、オソノの実を食べるが赤い実は食べずに種だけを食べる。



スズメ目シロカクサ科

# カマゲラ



【鳴き方】 さえずり：ツーレツーレー 地鳴き：シコシコ、チーチー

札幌市内や滝野地区で最も身近にみられる野鳥。胸のサウタイ柄が特徴でお腹の黒い帯が水、お所まで伸びているのがオス、細く途中で途切れているのがメス。



スズメ目シロカクサ科

# アサギサギ

# トビ

タカ目タカ科



滝野自然学園では、1年を通して見ることができる。上空を丸い円を描くように飛んでいる。飛んでいる時に尾がM字に切れ込むのはタカ科でもトビのみの特徴。また、鳴き声も特徴的で、高く遠く通った声で鳴くのでわかりやすい。

よく見られる場所



【鳴き方】 地鳴き：ピーヒョロロツ

# アカゲラ

キツツキ目キツツキ科



札幌市内の森の中ではよく見かける野鳥。耳を澄まして「ドドドド」と木を叩いていたら、近くにいる合図。オスは後頭部に赤い羽があり、メスにはない。幼鳥は頭全体の羽が赤い。子育て時期に入が近づくと「キョッキョツ」と警戒して鳴き続ける。

よく見られる場所



【鳴き方】 地鳴き：キョツ キョツ キョツ ドラミング：ドドドドドド（木をつつく音）

たきのしぜんがくえん  
**滝野自然学園**

いものずかん  
**生き物図鑑**

Takino Nature School  
Animal Encyclopedia

とりへん  
**鳥編**

Bird Edition



たきのしぜんがくえん  
**滝野自然学園**

〒057-0811 札幌市南区滝野106

TEL：011-591-8780

FAX：011-591-9401

